

「ゼロカーボンシティいせはら」宣言

～2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて～

近年、日本をはじめ、世界各国で猛暑や集中豪雨等の異常気象による災害が頻発しており、私たちの生活環境や財産、生命までをも脅かす状況となっています。

この異常気象の原因は、二酸化炭素等の温室効果ガスによる地球温暖化が原因と考えられています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力をする」という目標が示され、2018年に公表されたI P C C（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標を達成するには「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。さらに、2021年に公表されたI P C Cの報告書では、「地球温暖化の原因は人間活動である」と初めて断定的な表現がなされました。

本市は、丹沢大山を始めとした豊かな自然の恵みを受けながら、歴史と文化を守り、発展を続けてきました。

私たちの財産ともいえる豊かな自然との共生を、未来の世代へ引き継いでいくためにも、今の時代を生きる我々が、真摯にこの問題と向き合い、着実に解決のための歩みを進めていかなければなりません。

今後、市民や事業者の皆様と一体となって地球温暖化対策を推進することで、2050年における二酸化炭素排出量実質ゼロと、気候変動に強いまちの実現を目指す「ゼロカーボンシティいせはら」をここに宣言します。



令和3年10月22日
伊勢原市長 高山 松太郎